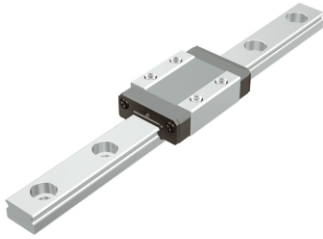


THKミニチュアLMガイドRSR/RSR-W形

LMレールとLMブロックに精密研削加工された2系列の転動面をボールが転動し、LMブロックに組込まれたエンドプレートにより、ボール列を循環させています。

RSR/RSR-W形はコンパクトな構造の中でボールが循環運動し、ストロークに制限のない無限直接運動をします。クロスローラーガイドやボールスライドの有限ストロークタイプで問題となりやすいゲージのずれがないため、信頼性の高いコンパクトな直動システムです。

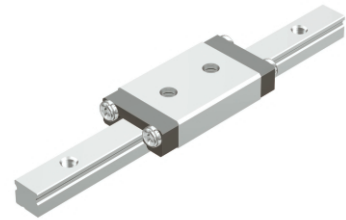
RSR、RSR-K、V形



RSR-W、WV形



RSR-N形

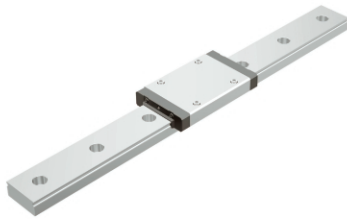


ミニチュアLMガイドの標準タイプです。

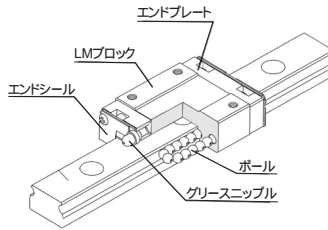
RSR-V形に対して、LMブロック全長を長く幅を広げ、定格荷重と許容モーメントを大きくしたタイプです。

RSR-V形に対して、LMブロック全長を長く、有効ボール数を増加し、定格荷重を大きくしたタイプです。

RSR-WN形



構造



呼び形番の構成

2 RSR15V M UU C1 + 230L P M -
呼び番号
1軸に組合わせるLMブロックの個数
LMブロックがステンレス材
両側エンドシール付
(片側エンドシール付はU)
ラジアルすきま
LMレール長さ(mmで表す)
精度記号
LMレールがステンレス材
軸数記号

RSR-W形に対して、LMブロック全長を長く、有効ボール数を増加し、定格荷重を大きく、小さいモーメント荷重が受けられ、小さいモーメント荷重を大きくした最も負荷容量の大きいタイプです。は1軸ガイドで十分使用できます。

精度規格

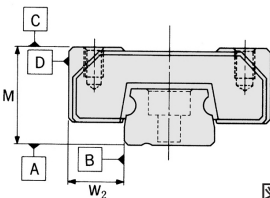


図1

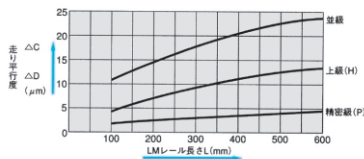


図2LMレール長さ走り平行度

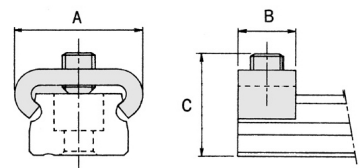
単位: mm

呼び番号	精度規格				
	項目	並級 無記号	上級 H	精密級 P	
RSR 3 RSR 5	高さMの寸法許容差	±0.03		±0.015	
	高さMのペア相互差	0.015		0.005	
	幅W ₂ の寸法許容差	±0.03		±0.015	
	幅W ₂ のペア相互差	0.015		0.005	
RSR 7 RSR 9 RSR12 RSR15 RSR20	高さMの寸法許容差	±0.04	±0.02	±0.01	
	高さMのペア相互差	0.03	0.015	0.007	
	幅W ₂ の寸法許容差	±0.04	±0.025	±0.015	
	幅W ₂ のペア相互差	0.03	0.02	0.01	
RSR 3 RSR 5	A面に対する C面の走り平行度		C (図2による)		
	B面に対する D面の走り平行度		D (図2による)		
	RSR 7 RSR 9 RSR12 RSR15 RSR20	A面に対する C面の走り平行度		C (図2による)	
		B面に対する D面の走り平行度		D (図2による)	

ラジアルすきま

呼び形番	表示記号		軽予圧 C1
	普通 無記号		
RSR 3	0 ~ +1		-0.5 ~ 0
RSR 5	0 ~ +1.5		-1 ~ 0
RSR 7	±2		-3 ~ 0
RSR 9	±2		-4 ~ 0
RSR12	±3		-6 ~ 0
RSR15	±5		-10 ~ 0
RSR20	±7		-14 ~ 0

● ストッパー(ボール脱落防止)C形



形番 RSR	A	B	C	形番 RSR	A	B	C
7	10.5	5	8.7	7W	18	6	9.2
9	13	6	9.5	9W	20	6	11.5
12	14	7	11.5	12W	26.5	7	12.5
15	17.5	7	13.5	15W	44.5	7	13.5
20	20.5	7	19				